

もっと  
大阪

# MoTT<sup>o</sup> OSAKA フォーラム 入会(登録)のご案内

大手企業

中小企業

大阪商工会議所

大手と中小の技術・製品開発のマッチング

## MoTTo OSAKA フォーラム の目的

大手企業と中小企業、大学や研究機関が早い段階からチームを組み、材料・部材や要素製品、さらには機器間を制御するシステムなど互いの優れた技術・ノウハウを結び付ける、ビジネスマッチング方式の共同開発を進めています。環境・エネルギー全般において、アジア諸国に負けない“ハイエンド”の技術開発や製品創出に向けた“開発型プラットフォーム”（出会いの場）を目指します。

### MoTTo OSAKA フォーラム とは・・・

モノづくりのMo、テクノロジーのT、トッランナーのToの頭文字をとってMoTTo（もっと）と名付けました。「もっと=今まで以上に。さらに。いっそう」モノづくり力、技術力を高めたい！という決意が込められています。

## 活動内容

### ① マッチング



#### 大手企業へ 新たな共同開発パートナーとの出会いを提供

環境・エネルギー分野を中心とした様々な新規開発について開発課題を発表することができます。共同開発パートナーが見つければ、研究開発のスピードアップや開発費用の削減に結びつきます。

#### 中小企業へ 「自社の得意分野」発表機会の提供

「例会」において、「自社の得意分野」を発表することができます。貴社の得意分野について他の企業と連携をはかる可能性が広がります。

#### 主に中小企業、大学や研究機関へ 大手企業との個別商談（お引き合わせ）機会の提供

大手企業の開発課題に関心があれば、大手企業との個別面談方式のビジネスマッチングに参加することができます※。大手企業に対して貴社の技術を効率的にPRできる機会が得られます。

※審査があります。

#### 公設試験研究機関、金融機関等へ 「協力支援機関」の参加

設備機器や金融サービス等をPRすることができます。

### ② 情報提供



環境・エネルギー分野における大手企業の開発課題や最新の関連技術・製品・サービス、支援制度などについて貴社に役立つ情報がタイムリーに得られます。

### ③ 人的交流



「例会」後に立食形式の「交流会」を開催します。  
“フェイス トゥ フェイス”の情報交換や人的ネットワークづくりが可能です。



## マッチングの特徴

### ① 2段階のマッチング

まずは応募書類での1次マッチング、次に大手企業との面談による2次マッチング、という2段階提案システムです。

### ② 提案分野は「環境・エネルギー」以外もOK

「環境・エネルギー」の分野には限りません。提案受入企業の事業等に合致するであろう内容であれば提案いただけます。

### ③ フィードバックシステム

ご提案後は、提案受入企業にて採用・導入の可能性を判断し、不採用の判断も含めて最終的な結論を提案企業へフィードバックします。

### ④ 提案費用は無料

原則無料です。ただし、面談の際の交通費や、提案企業で専門家を手配された場合などの費用はご負担いただけます。

## 考えられるビジネスマッチング

商品・  
技術等の採用

共同研究・  
開発、技術提携

ライセンス供与

その他  
(例 大手企業と同じテーマ  
で議論する技術交流)



大商「MoTTO OSAKA フォーラム」座長

**名取 隆氏**

(立命館大学大学院テクノロジー・  
マネジメント研究科 副研究科長 教授)

わが国のモノづくり企業は、グローバル化が益々進む中で厳しい競争にさらされており、高い顧客価値を有する製品・サービスの提供が求められています。この中で、社内と外部のアイデアを有機的に結合させて付加価値を創造する「オープンイノベーション」による開発力強化の重要性がますます高まっており、大企業と中小企業、大学や研究機関が早い段階からチームを組み、他社との差別化に向けた技術開発に臨む必要があります。「オープンイノベーション」のメリットは、「優秀な社外人材の活用」「時間・コストの節約」や「技術・事業開発リスクの軽減」などがあげられます。

そうした中、大阪商工会議所は2009年7月から、環境・エネルギー分野全般におけるオープンイノベーションによる大手企業と中小企業の技術・製品開発のマッチングを推進する「MoTTO OSAKAフォーラム」を運営しています。本フォーラムは、環境・エネルギー分野における技術・製品開発に関する希少な情報や自治体等からの新たな支援制度など、付加価値の高い情報の提供を行うとともに、日頃接点の少ない大手メーカー等と出会える様々な機会を提供してきました。本フォーラムの最大の特長は、大手メーカーがフォーラム参加メンバーに、直接、技術ニーズの説明を行うとともに、質疑応答や交流会を通じて双方向の交流が可能であることです。

その結果、本フォーラムにより現時点(2012年4月)で、136件という多数のビジネスマッチングが実現しています。自社だけで新しいビジネスチャンスを発掘することは容易ではありません。もはやそうしたクローズな時代は終わり、オープンにビジネスパートナーを開拓する時代に移ったと言えます。本フォーラムにご参加いただき、得られる貴重な機会を最大限に活かして、貴社の5年、10年先の新製品・サービスの開発や新規取引先の開拓が成功されることを期待致します。是非、ご入会いただきますようご案内申し上げます。

(参考) 2012年12月には大阪・関西地域は「関西イノベーション国際戦略総合特区」の指定を受けました。これにより、同特区ターゲット分野の大きな柱の1つである環境・エネルギー分野において、実用化、市場づくりをめざしたイノベーションを次々に生み出すプラットフォームの構築が期待されています。

## これまでの「開発テーマ」例

- 業務用・産業用機器
  - ・ 酸素製造技術
- 家庭用機器
  - ・ 浴室での健康管理に関する技術
- パイプライン・インフラ技術
  - ・ 鉛フリー半田の長期信頼性評価手法
- 基盤技術
  - ・ バイオマス炭化物の用途探索
- エンジニアリング技術
  - ・ LNG(液化天然ガス中)の窒素濃度を数分で分析できる技術
- 材料技術
  - ・ 抗菌・防霉・防かび・防藻・防虫用の化合物(原体)の探索
- 家庭用燃料電池
  - ・ 排ガス凝縮水の処理装置
- 材料技術
  - ・ 樹脂材料
- 加工技術
  - ・ アルミ加工・表面処理・加工技術
- 部材
  - ・ 圧縮機用防音材
- 測定・評価技術
  - ・ 圧縮機内部計測技術(高温・耐圧)

## これまでの大手企業

大阪ガス(株)  
 オムロン(株)  
 シャープ(株)  
 ダイキン工業(株)  
 パナソニック(株)  
 (旧 三洋電機(株))  
 日立造船(株) (順不同)

## MoTTo OSAKAフォーラムの仕組み



## マッチングの流れ



### 入会(登録)申し込み

「sangyo@osaka.cci.or.jp」宛にメールを送信してください。「入会(登録)申込書」を返信します。

### 年会費

無料



## 事務局

大阪商工会議所 経済産業部 産業・技術・水ビジネス振興担当

〒540-0029 大阪府中央区本町橋2番8号

TEL (06) 6944-6300 FAX (06) 6944-6249

E-mail sangyo@osaka.cci.or.jp http://www.osaka.cci.or.jp/motto/